

【禁忌事項】お手入れ前の注意

- ☐ 体調の優れない方（重度の疲れ・重度の寝不足・二日酔いを含む）
- ☐ 風邪ぎみの方 □予防接種から1週間以内の方
- ☐ 妊娠中の方、または妊娠の可能性のある方、産後直後や授乳中の方
- ☐ アルコールを飲んで来られた方
- ☐ 病中・病後の方
- ☐ 病院に通院されている方
- ☐ 内科系疾患をお持ちの方
- ☐ 伝染病疾患をお持ちの方
- ☐ てんかんやパニック症状などの既往症のある方
- ☐ その他持病をお持ちの方
- ☐ 継続的に薬の服用をされている方
- ☐ トリートメント当日薬の服用をされている方（風邪薬や頭痛薬も含む）
- ☐ 予防接種を受けて一週間以内の方
- ☐ アトピー性皮膚炎・ケロイド体質・光アレルギー・ヘルペスをお持ちの方
- ☐ 切り傷・炎症・ニキビ・手術痕がある部位
- ☐ その他皮膚疾患をお持ちの方
- ☐ 塗り薬を使用している部位
- ☐ まぶたやイボの上
- ☐ 肝斑や盛り上がった老斑の上
- ☐ イングローヘアが見られる部位
- ☐ 毛細血管拡張症の見られる肌
- ☐ 粘膜部位
- ☐ 極端に色素の濃い肌
- ☐ 極端に肌の弱い方や乾燥されている肌
- ☐ 日焼けによる炎症がある肌
- ☐ 病的にメラニンの濃い箇所（ホクロ・シミ・あざ・乳輪・打ち身・乳輪内側）
- ☐ 刺青・タトゥの上
- ☐ 整形手術をされている箇所
- ☐ 金の糸が入っている部位
- ☐ コラーゲンやヒアルロン酸、ボトックスの注射をされている方（但し1か月後の照射は可能）

ご心配な場合は、主治医にご相談ください

ホームケア

① 赤みやほてりを感じた時は、トリートメント箇所を冷やしてください

トリートメント後の毛穴は赤みや熱を帯びていますので、ほてりを感じたら冷たいタオルで肌の鎮静をして下さい。赤みがある場合も同様に鎮静をして下さい。

- トリートメントの後～帰宅直後
- 入浴の後（施術当日～2日間はシャワーのみ）
- その他、赤みや肌内側に違和感を感じたとき

② 血行が促進されること、汗をかくことは避けてください（飲酒・サウナ・岩盤浴・スポーツ・マッサージなど）

◎トリートメント当日～2日間は、毛穴を開かせる行為は避けて下さい。汗によって肌が汚れ、毛穴が刺激されることで肌の回復を妨げる場合があります。

③ 当日の入浴は長湯を避け、ぬるめのシャワーにしてください

◎トリートメント当日～2日間は熱い湯および長湯は避けてください。

④ 肌をこする、掻く、叩くなどの刺激を与えないで下さい

◎肌に赤みがある場合は、無理にシェービングしないでください。

入浴の際には、ゴシゴシ洗顔・スクラブ剤・ナイロンタオル等の刺激性のあるものの使用は避けてください。痒みを感じた場合は、掻かずに冷やしてください。



⑤ 毛を無理に掘り出そうとしないでください

◎無理に毛穴を刺激すると、傷になって残る場合があります。

⑥ 肌を乾燥させないで下さい

化粧水やジェルで日常的に保湿を心がけてください。また光フェイシャルやBBLのトリートメント後は、ローションパックや美容液をいつもより多めに塗布するなどお手入れをプラスするのが効果的です。

◎ひきつり・つっぱり等を感じた場合は、こまめな保湿をオススメします。



⑦ 肌を清潔に保ち、トリートメント当日は飲酒は避けるなど、規則正しい生活を心がけて下さい

⑧ 日焼けは避け、紫外線対策を行ってください

トリートメント直後は肌が敏感になりがちです。

◎年を通し、紫外線対策としてUVクリームを使用するなどをおススメします。



施術効果を高め、肌にかかる負担をなくす為にも、**お客様自身で自己管理（ホームケア）を必ず行ってください。**